

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>1 鶴ヶ島市の広報戦略について (20分)</p> <p>市制施行30周年記念事業の小・中学生による「私たちが思う未来の鶴ヶ島」をテーマにした作文コンクールで表彰された作品の中で、「鶴ヶ島市はあまり知られていない」「鶴ヶ島市をもっと多くの人に知ってもらいたい」「鶴ヶ島市のことをもっと発信していきたい」というような内容の作文がありました。</p> <p>鶴ヶ島市の知名度の低さについて、小・中学生でもそのように感じていることを、あらためて私自身も再認識いたしました。</p> <p>本市の知名度アップの取組として、これまでも全国ゆるキャラグランプリ3位となった「つるゴン」や本市出身バンド「鶴」による本市の広報塔としての活動など、積極的な知名度アップが図られていますが、実際のところ「つるゴン」や「鶴」は知っていても、鶴ヶ島市は知らないというのを強く感じます。</p> <p>流山市では、「母になるなら、流山市。」「父になるなら、流山市。」をキャッチコピーとしたポスターを、首都圏の主要駅構内や電車内に貼り出すなど、首都圏から同市内への30～40代を中心とした子育て世代の転入者を増やすイメージ戦略の一環として、展開しました。その数年後には、次の展開として「学ぶ子にこたえる、流山市。」のキャッチコピーで、イメージテーマを「子育て」から「教育」に広げ、これまでの25駅から44駅に出稿場所を拡大しております。市のマーケティング課では、「首都圏駅で大きなポスターを貼ることは他には代えがたいPR効果がある。まずは流山を覚えてもらい、移住先の選択肢の一つになるようにしたい。」としています。</p> <p>また、身近な自治体の小川町では、「武蔵の小京都 東武東上線 始発駅 小川町に引っ越しませんか？ 仕事帰りもらくらく T J ライナー通勤を支援します(下り座席指定券購入費用の一部を補助します)」という内容のポスターなどもPR掲示されています。</p> <p>それぞれ政策に基づいての自治体PRですが、どのような有効な政策を展開しようとも、その市について、興味を持ってもらわなければ、そこから先には進みません。</p> <p>このような自治体PRポスターによるイメージ戦略なども含め、</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p>本市の知名度アップにつながる広報戦略をどのように考えておられるのか、以下質問いたします。</p> <p>(1) 本市の知名度をどのように捉えているか。 (2) 本市の知名度アップにつながる有効な取組について</p> <p>2 仮称「つるの駅」構想と農業大学校跡地周辺の今後について (20分)</p> <p>農業大学校跡地には、県による土地区画整理事業により株式会社IHIが誘致され、スポーツ施設として活用できる調整池と豊かな自然が残された太田ヶ谷の森からなる鶴ヶ島グリーンパークが整備されました。また、その周辺には、県による農業大学校跡地周辺地域整備基本構想(先端産業実証フィールド)が進められており、こうしたことに連動した都市計画道路川越鶴ヶ島線の整備や圏央鶴ヶ島インターチェンジのフルインター化に向けた整備など、新たな交通ネットワークの整備が進められています。</p> <p>このように大きく様変わりしていくこの地域に、仮称「つるの駅」構想が、齊藤市長2期目の公約の目玉として、事業化に向けた取組が始まります。</p> <p>鶴ヶ島グリーンパークや近接する鶴ヶ島市運動公園などは、休日だけでなく、平日にもスポーツや散策などを目的に、多くの市民が集まる憩いの場になってきていることから、今後、更なる集客に向けて、事業化が期待されるところであります。</p> <p>こうした仮称「つるの駅」構想と農業大学校跡地周辺の今後について、以下質問いたします。</p> <p>(1) 仮称「つるの駅」構想のイメージについて (2) 期待される交流人口のターゲットについて (3) 地域産業との連携について (4) 県による農業大学校跡地周辺地域整備基本構想との兼ね合いについて</p>	市 長

質問の件名及び質問の要旨（質問時間）	答弁を求める者
<p data-bbox="172 315 1117 409">3 埼玉県による埼玉版スーパー・シティプロジェクトへの鶴ヶ島市の考え方について (20分)</p> <p data-bbox="172 472 1117 611">大野知事の重点公約の一つである「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」が本格的に始動し、現在11の市町が名乗りを上げております。</p> <p data-bbox="172 629 1117 819">急速に進む超少子高齢社会を見据え、ICTなどを活用しながらコンパクトなまちづくりを目指す構想であり、「日本一暮らしやすい埼玉県」の実現に向けた取組として、市町村や民間企業などと連携しながら、持続可能なまちづくりを進めていくとのことです。</p> <p data-bbox="172 837 1117 931">この「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」について、本市ではどのような考えを持っているのか、以下質問いたします。</p> <p data-bbox="185 994 1117 1133">(1) 立地適正化計画との連動性について (2) 本市としての「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」への対応について</p>	市 長